

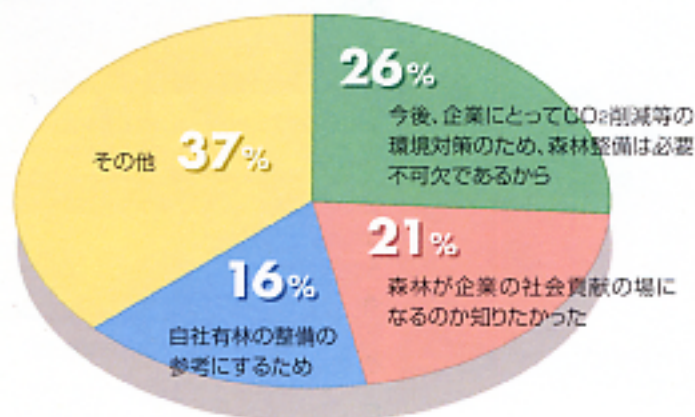
# アンケート集計結果

セミナー参加者を対象としたアンケート集計の結果を報告します。

アンケート回収数：68件

## 森林活用セミナーに参加した動機

参加の動機は、「その他」を除くと、「今後、企業にとって森林整備は必要だから」との回答が多く、「その他」回答をみても、都市部及び企業サイドからの森林への関心の高さが目に付いた。

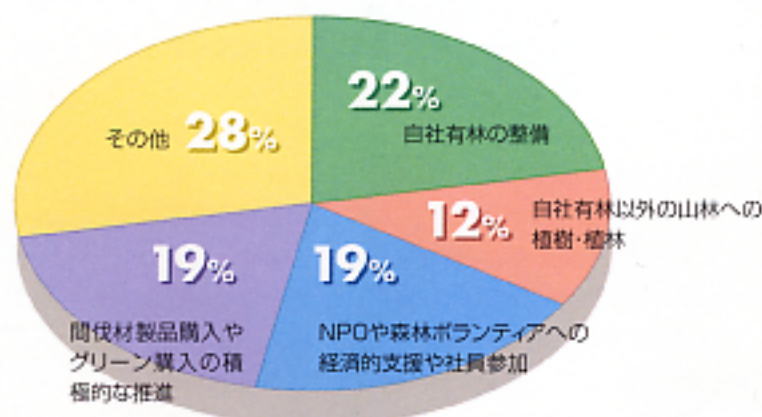


### その他 主な回答

- 今後の森林・林業に関する大きな流れを示す話が聞けると思ったから。
- 私有林の将来設計に資するため。
- 都市住民として林業者の意見が聞きたい。
- 企業と森林づくりの関係を含めたい。
- 日本の森林の現状や企業、行政の取り組みについて興味があるため。

## 森林保全のために行っている活動

森林保全のための活動については、「その他」を除くと、「自私有林の整備」という回答が多く、「NPOや森林ボランティアへの支援」「間伐材製品購入やグリーン購入の推進」が続いている。「その他」回答の中には、「現在活動はしていないが、役立つことがあれば参加したい」というコメントも目に付いた。

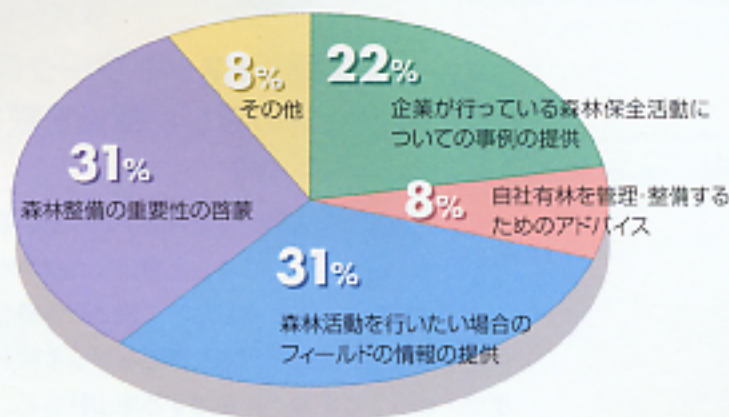


### その他 主な回答

- 林野庁の法人の森林制度に参加。
- 森林ボランティアに参加。
- 海外での植林活動に参加。
- 森林インストラクターとして一般市民への啓蒙。
- 社のグリーン共生という行動を通じて植林活動、緑化活動を奨励。
- 個人として現在活動はしていないが、役立つことがあれば参加したい。

## 今後誰だれ森林もりネットワークに期待すること

誰の森林のネットワークへの期待については、「森林整備の重要性の啓蒙」、「森林活動を行いたい場合のフィールドの情報の提供」が最も多く、「企業がやっている森林保全活動についての事例の提供」が続いている。「その他」回答の中には、さまざまな情報提供に対するニーズのほか、情報発信の場として期待する意見も目立った。

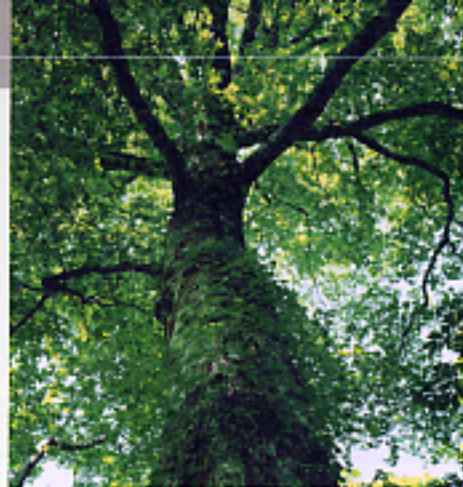


### その他 主な回答

- サラリーマンなど個人が森林を所有する場合の情報。
- 学校等への教育活動。
- 森林づくりをしたい企業の情報、ニーズ。
- 環境コスト、LCAなど森林が持つ機能の定量化による重要性のアピール。
- 国の森林・林業政策、自治体の活動（森林・林業関連活動）、森林組合活動の情報提供。
- 国勢に反映する意見発信の場として期待したい。

## 森林活用セミナーに参加した感想

- 特に掛川市長の深い洞察力と説得力のある発信が目立っていた。21世紀の森林・林業のあり方について考える良い機会であった。
- 大阪府森林組合の事例報告は参考になった。
- 長期的観点から、街の中で子どもたちを対象とする自然環境教育の必要性を大いに考えさせられた。
- 和歌山県知事の緑の雇用事業が全国的に広がるように願っている。掛川市長の「山は天からの授かりもの」「山一代人三代」は良い言葉です。和歌山県知事と協力して有効なものにしてほしい。
- パネルディスカッションのスピーカーが一般論ではなく、具体的に自分の話をしてくれたのが非常に良かった。
- 今回のセミナーの目的と方向性があまり見えなかったが、さまざまな課題や可能性が明らかになったので参加して良かった。
- 企業の役割だけを問題にする段階には至っていないと思うが、今後も継続して実施されることを望む。
- 企業として山林経費は採算性から不採算種と考える。除間伐等維持をしていくためには、行政の支援は必須と考える。
- 県、市、企業等それぞれの意見はとても有意義ではあったが、もっと森林活用していくためには林野庁、環境省に頑張ってほしい。
- 企業、行政、林業者だけではなく、市民や個人、学生等もひっくるめて森林の問題を考えていけたらいいと思った。



## 誰の森林ネットワークは、 みなさんと森林の新しい関係を提案します。

私たちの国土の7割近くを森林が占めているってご存じですか？ 日本人は、こうした豊富な森林や木材を利用して木の文化を育んできました。「伐ったら植える」という技術を駆使し、森林を健全に育てながら木材を生産する林業や、燃料や堆肥などを生産する里山林など、人々の暮らしと森林の存在はとても親密だったのです。

ところが、戦後、経済のグローバル化が進み、同時に私たちのライフスタイルが急速に変化する中で、林業の低迷や里山林の減少など、人と森林の関係が崩れてしまいました。人の手で管理されてきた森林は、突然放置されても思うように育ちません。今や山村などでは森林の手入れ不足が大きな問題となっているのです。

そこで誰の森林ネットワークでは、森林を所有されている方々、森林の作業を望まれる方々、森林整備への支援を望まれる方々に情報の提供などを通じて、ネットワークづくりをお手伝いします。

森林を愛する人と森林をつなぐコミュニケーション、それが誰の森林ネットワークなのです。



誰の森林ネットワークの  
ロゴマーク



## 企業と市民と林業者をつなぐ 誰だれ森林もりネットワーク



誰だれ森林もりネットワークでは、  
さまざまな情報提供を行います。

### 都市にお住まいの 森林所有者(企業) 向けのサービス

#### 連携サービス

あなた(または会社)の森林の適正な管理のため、  
地元の森林組合をご紹介します。

#### 全国ふるさと森林会議の開催

東京、大阪、名古屋の全国3会場で、あなた(ま  
たは会社)の森林の管理・経営について、地元の  
森林組合がアドバイスします。

### 森林づくりに関心のある 企業向けサービス

#### ホームページによる情報提供

森林管理に関する各種情報をインターネットで  
提供します。

<http://www.daremori.net/>



#### 情報誌の発行

環境対策事業に取り組む企業  
の事例紹介や企業による  
森林活用の方策を示唆した  
情報誌をお届けします。



#### 森林活用セミナーの開催

企業と市民と林業者が連携した森林整備による  
未来へ向けた森林管理、資源活用のシステムづ  
くりを考えるセミナーを開催します。

※詳しくは誰だれ森林もりネットワーク事務局まで  
お問い合わせください



■発行

誰だれ森林もネットワーク事務局

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12  
全国森林組合連合会組織部内  
TEL.03-3294-9717 FAX.03-3293-4726  
<http://www.zenmori.org>  
平成13年度地域森林管理システム支援事業

■編集

(社) 全国林業改良普及協会

